

龍谷大学生協 春合宿



[組織運営]

取り組み概要

日時：2024/02/21~2024/02/23
 場所：鳥居楼@滋賀県高島市
 参加者数や組合員の反応：深草から30名、
 瀬田から9名の計39名の学生委員と9名の
 職員が参加。

背景や概要：10月に実施したブロック学
 生委員会で深草と瀬田の両キャンパスか
 ら「合宿をしたい」と意見が出て、想い
 が一致したことから実現。

学生委員と職員でつくる龍谷大学生協に

POINT.1

合宿をしよう！



今回の合宿は、2023年10月に実施されたブロック学生委員会・議案検討会議に参加していた深草・瀬田の学生委員の「合宿をしたい」という想いから計画されました。新型コロナウイルスの影響を受け希薄となったキャンパス間の交流と、学生委員会の役割を知ること、また活動を振り返って活動を見直すことを目的として実施に至りました。合宿の計画は、深草・瀬田の学生委員会の幹部学生と職員で繰り返し議論され、3日間の合宿の内、1日目のみ職員が参加し、2日目以降はすべて学生によって運営されました。

POINT.2

龍谷大学生協って何？

1日目は、生協の仕組みや組合員の現状、共済の給付事例等を学び、他大学生協や自大学生協の先輩の活動事例を参考に生協学生委員会という立場からどんなアプローチができるか考えました。深草・瀬田の学生委員と職員が同じ班で、現状と理想を書き出し、積極的に意見交流をすることによって学生・職員それぞれの想いを知ることができました。また、今後活動していくための学生と職員のつながりを作ることができました。

参加者からは「活動の背景にある組合員の生活を意識するきっかけになった」、「活動を組合員に広げて、自分事として一緒に大学生活を良くしていきたい」という意見が出ました。



POINT.3

みんなで作る学生委員会活動



2日目午前は、組合員の現状と理想をもとに班ごとに企画の案を付箋に書き出し、たくさん出た意見の中から1つ選び、企画書作成を行いました。健康・安全やSDGs、組合員の生活を意識した様々な企画が生まれ、組合員に発信する方法が考えられていました。

午後は学年別の活動を行いました。2回生はこれまでのGI活動の振り返りを行い、引継ぎや就活についての話し合い、1回生は2日間の学びを復習し、次年度の活動にどう活かすか、どんな学生委員会にしたいか話し合いました。2回生は次期執行代に引継ぐまでに何をすべきか、1回生は何を引継いで活動に活かすかまで考えられていました。3日間の共同生活を通して、委員会内の親交を深め、今後の活動のモチベーションとなっていました✦

